

デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣
衆議院議員

大串まさき

http://www.m-ogushi.com/ 国政報告

- ✔ デジタル副大臣としての活動
- ✔ 地元課題へも丁寧に対応
- ✔ 骨太の方針など来年度に向けて

36
ゲシロツク VOL.



大串まさき プロフィール

デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣
元 経済産業大臣政務官

- ▶ 昭和 41 年生まれ。報徳学園高卒。東北大学大学院修了。博士（知識科学）。IHI、松下政経塾、大学准教授などを経て現職。現在 4 期目。
- ▶ 社会保障・教育・経済など多様な政策分野で活動中。
- ▶ 家族は妻と 2 人暮らし+保護猫 1 匹（三毛猫）。趣味は釣り・絵画・多肉植物など。スポーツは高校まで剣道一筋。好きな食べ物はカレーライスとラーメン。座右の銘は「威ありて猛からず」。

お問い合わせ先

自民党への入党のご希望、国政報告会への参加希望など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



デジタル副大臣としての活動

マイナンバーカードについて

ご心配をおかけしていますマイナンバーカードですが、現在、手続きの方法を含めて紐付けの誤りなど総点検を進めています。マイナンバー自体は国民全員に付番された 12 桁の番号で、社会保障、税、災害対策の 3 分野で利用されています。その利用は法律や条令で利用を許可された機関のみに許されていて、今回の紐付け誤りとは全く別の制度ですのでご安心下さい。一方、マイナンバーカードはマイナンバーとは異なる電子証明書を搭載し、さまざまな場面で個人認証ができる便利なカードです。ただし、健康保険証として利用する場合にはマイナンバーと保険証を紐付けする必要があります、ここは自動化できない※ため手入力になります。現在のトラブルの多くは、その際の各健保組合などの入力ミスによるものです。デジタル化の過程で不可避な作業のため、自治体や健保組合などと連携しつつリスクマネジメントの在り方を見直して参ります。

※たとえば「渡辺」さんの「辺」の字は「辺、部、邊、邊…」など 140 種類の字体が存在しています。デジタルデータではこれら「表記揺れ」は自動で処理できません。住所はさらに複雑な表記揺れがあります。

▶ まずはマイナポータルからご自身の登録情報をご確認下さい。
▶ ご質問・ご不明な点はマイナンバー総合フリーダイヤルまでご連絡下さい。☎ 0120-95-0178



マイナポータルのさらなる利活用に
民間のアイデアを募集

トルクメニスタン訪問

6 月末、日本政府を代表してトルクメニスタンを訪問して参りました。トルクメニスタンはイランとアフガニスタンに挟まれた中央アジアの国で、天然ガスを豊富に産出する豊かな国としても知られています。永世中立国として中立政策を維持しつつも少しずつ開放的な外交政策を展開しています。今回の訪問はアルカダグ市の落成式への出席で、将来的には近代的なスマートシティとなる予定です。メレドフ副首相兼外務大臣やグルマノヴァ国会議長などとも会談。今後の友好関係を約束しました。



落成したアルカダグ市



グルマノヴァ議長と会談

医療 DX の工程表

デジタル化でもっとも大きな恩恵を受ける政策の一つが医療分野です。医療サービスの効率化や質の向上により国民の保健医療の向上を図って参ります。この度、私が担当（医療 DX 推進本部幹事会 議長代理）する医療 DX の工程表を取りまとめました。今年度より電子カルテ情報の共有システムの開発に着手するとともに、介護情報等についても順次共有できるようにします。さらに、クラウドベースの標準型電子カルテを開発し、遅くとも 2030 年には概ね全ての医療機関において、必要な患者の医療情報を共有できることを目指します。また、診療報酬改定 DX については 2026 年度より本格的に提供してまいります。



大串まさき 国政報告

自由民主党 兵庫県第六選挙区支部ニューズレター

ゲシロツク 第 36 号（令和 5 年 7 月 15 日号）

頒布責任者：浅井勝弘 伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12
印刷者：株式会社プリントバック 京都府向日市森本町野田 3-1

討議資料

地元課題へも丁寧に対応

衆議院議員は国会議員であると同時に地元地域の代表でもあります。特に、国と関わる地元課題への対応は重要な仕事で、国政について地元の意見を伺ったり、逆に国政について地元の説明することも重要な責務です。

伊丹市新庁舎が完成

昨年開庁した伊丹市役所の新庁舎。建設には多額の予算が必要となりますが、この整備事業には市長と協力して環境省の補助金を確保しました。災害時にもエネルギー供給を可能とするために再生可能エネルギー設備や蓄電池などの導入を支援する**レジリエンス強化型 ZEB 実証事業**として採択されました。ZEB はネット・ゼロ・エネルギー・ビル の略で、環境に配慮したグリーン化と災害対策を両立する新しい取り組みです。この予算を確保するために、伊丹市では当初から環境配慮設計を取り入れました。迅速な情報収集の結果、市民の負担を減らして新庁舎が完成しました。



宝塚インター周辺の渋滞対策など

宝塚市の課題の一つが渋滞問題です。特に、宝塚インター周辺の混雑には悩まされた方も多いと思います。道路整備には巨額の予算が必要となるため、市道・県道と言っても市や県だけでは予算確保は困難です。このような場合、**社会資本整備総合交付金**などの国からの支援金で事業を進めることが一般的です。いわゆる街路事業（都市計画道路）とよばれる**尼崎宝塚線の小浜南工区**ですが、国の予算が滞ることないよう働きかけ続けた結果、工事も順調に進んで、いよいよ完成間近となりました。また最近話題になった**JR 武田尾駅のバリアフリー化事業**も国の鉄道駅総合改善事業の補助率を拡大して実現した事例です。



国と地域の連携の重要性

ここで例示したように地域の事業は地域単独で実施することは財政的に難しい課題がほとんどです。つまり、国の予算をいかに確保するかで実現の可否が決まると言っても過言ではありません。そして国の政策動向によって、今後、どのような予算が確保できるかという情報が重要な役割を果たします。だからこそ予算案の策定だけでなく様々な政策を立案している与党が、国と地域で連携していることが重要です。公共事業のみならずデジタル化やグリーン化、防災・減災、子育て支援や医療・福祉など、身の回りに課題は山積しています。他の地域より先んじて新たな取り組みを進めることが、結果的に暮らしやすさに繋がっていきます。これからも国と県、市のそれぞれの力を総動員して対応して参ります。



骨太の方針など来年度に向けて

通常国会が閉会しました。予算や条約などを除く内閣提出法案は 60 本提出中 58 本が成立（金融関連の 2 法案が継続審議となりましたが**成立率は 96.7%**です）。今国会では私も副大臣として法案の答弁に対応しました。この通常国会の閉会を挟んで、自民党内で議論が続いていた来年度の方針がまとまりました。これから各省庁が概算要求を取りまとめて予算案をつくり、来年の通常国会に臨むこととなります。



経済財政運営と改革の基本方針 2023（骨太の方針）

新しい資本主義を加速させ、賃上げの流れを確かなものとする点に主眼が置かれています。ポイントの一つが三位一体の労働市場改革。「**リスキリング（学び直し）による能力向上支援**」「**個々の企業の実態に応じた職務給の導入**」「**成長分野への労働市場の円滑化**」を同時並行で進めます。中小企業に対しても生産性の向上や価格転化対策を徹底して賃上げ原資の確保につなげていきます。経済全体では官民連携による国内投資の拡大やサプライチェーンの強靱化、さらには GX（グリーントランスフォーメーション）や DX（デジタルトランスフォーメーション）の加速やスタートアップの推進など、新たな分野への投資拡大と改革の実行も進めていきます。他にも、社会保障、外交・安全保障、防災・減災等、幅広い政策課題に取り組んでいきます。

こども未来戦略方針案

骨太の方針に先立って、子育て支援と経済成長の両立をはかるための方針案も策定されました。**児童手当の拡充**（第 3 子以降は月額 3 万円とし所得制限を撤廃の上、高校まで延長）をメインに**高等教育の無償化の拡大**、**出産費用の軽減**に加えて**保険適用の導入**、**住宅支援の強化**や**育休制度の拡充**、既に実施している**出産・子育て応援交付金**（10 万円）などを総合して、若い世代の誰もが結婚や子どもを産み育てたいとの希望が叶えられるように実施してまいります。もちろん財源については、増税では無く徹底した歳出改革などで確保することとしています。

編集後記

デジタル副大臣に就任して 1 年が経ちます。なかなか地元にも戻れず、現在の政策課題について十分にわかりやすくお伝えできていないことが心苦しいです。マイナンバーカードのトラブルも正しい実態が伝えられていませんが、

これからも丁寧に進めていきたいと考えています。他にも自治体業務の標準化や医療、教育、災害対策のデジタル化など、急がねばならない課題が残されています。ほとんどが目に見えない縁の下の仕事ですが、後生のためにも最後までやり遂げます。